



2016年度 年主題〈平和をともに〉

1・2歳児 7月主題「ふれて」
月のねがい
◎イエスさまを身近に感じる
◎動くことがうれしくなり、満足して過ごす
◎土、砂、水にふれて遊ぶ
◎友だちや友だちのしていることに興味をもち、真似て遊ぶとする
◎子どもの育ちを保護者と共にわかちあう

3・4・5歳児 7月主題「探求」
月のねがい
◎神さまの創られた自然にふれ、親しむ
◎土、砂、水にふれ、心と身体を解放させて遊ぶ
◎やりたいことや一緒にいたい人がはっきりしてきて、遊びが続くようになる
◎子どもの育ちを保護者と共にわかちあう

今月の聖句

「あなたのみ言葉はわたしの足のとしび、わたしの道の光です。詩篇119篇105節」

人生の旅では綿密な案内が必要となります。幼子たちが社会人になると、多くの可能性を秘めた世界が広がっています。同様に、人生を狂わせる世界も待ち受けています。まるで道のない深山を旅するようなことに度々出会うのです。

道に迷うとき、信頼できる案内が必要です。賢い人なら、信頼できる地図と、方角を確認するコンパスを用意することで、そうすれば、自分の居場所の確認と、進む方向を確定することができます。冒頭の「あなたのみことば」とは聖書(バイブル)の言葉のことです。聖書は人生5000年の知恵と経験が書かれており、特に人生の道しるべとして古今東西の人々に重宝がられています。未知のことについて決断する時のすばらしいガイドとなります。シオン学園が卒園の記念として聖書を贈るのも、園児の皆さんが成人して聖書に親しみ、人生の道しるべとしていただきたい願いと祈りがあるからにほかなりません。

前理事長 池田公栄

7月の行事予定

| | |
|--------|------------------|
| 5日(火) | プール遊び(市営プール)・弁当日 |
| 6日(水) | 七夕訪問 |
| 9・10日 | お泊り保育(年長児) |
| 12日(火) | プール遊び(市営プール) |
| 19日(火) | 一学期終園日(1号午前保育) |

8月の行事予定

| | |
|--------|------------|
| 1日(月) | 夏季保育(午前保育) |
| 19日(金) | 夕涼み会 |



自分で決めるということ

6月のある日の出来事です。廊下を走って部屋に戻ろうとしたTちゃん(3才)。こけてしまい、うずくまるようにして「ううっ...」と発し、立ち上がることができません。足を押さえて痛そうです。「起こしてあげようか?」と声掛けをしてみると、「ううっ...」の音が一瞬止まった。と思った次の瞬間、「...自分で!自分で決める!」と言ったのです。私はそのまま泣きながら起こして欲しいという事になるのでは、と予測していましたが、意外な言葉にちょっとびっくりしました。

「そうか、じゃあ、先生は先に行くね」と言ってその場を離れた。そっと振り返ってみると、立ち上がって歩いている彼女の姿が見え、スゴイと思いました。

「自分で決める」ということと、「自分で起きる」ということとは大きな違いがあると思いました。たとえ、常々、保育者から「自分で決めようか、決められる?」という声掛けがあったとしても、なんと素晴らし言葉でしょう。ちょっとツツパリ気味の彼女の育ちに出会えた、本当に心地よい瞬間でした。

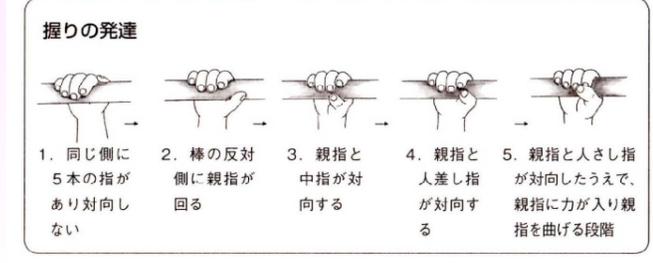
私たち大人でも、つい周囲に流されてしまうことがある中、子どもたち自信が自分の考えをしっかりと持って、行動できることは感動を与えます。そして、子どもたちみんながそのように育って欲しいと、願いを新たにすることでした。

園長



赤ちゃんの時のおんぶで、体幹が出来ていくようです!

イラストで見る運動発達の順序



コラム③ 移動する時は「おんぶ」で

<おんぶひも>
次のような効果があります。

- ① 母親と赤ちゃんの進行方向が同じです。
- ② 赤ちゃんの胸が圧迫されるので深く呼吸をできるようになり、呼吸器系が育ちます。
- ③ 赤ちゃんの背筋が伸びて姿勢が良く股関節も開きます。
- ④ 母親と同じ方向で物を見て同じものに共感できます。
- ⑤ 母親が転んでも赤ちゃんはケガをしにくい。

<抱っこひも> (抱っこの補助に使うものです)
歩くと次のような心配があります。

- ① 赤ちゃんの体と進行方向が逆で、赤ちゃんの脳が混乱します。
- ② 赤ちゃんの背中が丸まり易く、母親の腰にも負担がかかります。
- ③ 赤ちゃんが指差ししても気づきにくい。
- ④ 母親が転ぶと赤ちゃんが怪我をし易い。

<スリング(抱き帯)>
次のような心配があります。

- ① 赤ちゃんの背中が丸くなってしまいます。
- ② 母親の腰にも負担がかかります。
- ③ 赤ちゃんの視界が狭くなります。
- ④ 母親が転ぶと赤ちゃんが怪我をし易い。
- ⑤ 赤ちゃんが手を自由に動かさせません。

夏本番 暑さフルスロットルの予感

昨年の大雨からすると物足らないくらい種子島ですが、九州地方では集中豪雨で各地で被害が出ているようです。先日出張で滞っていた長崎市で、急斜面に建つ家屋が倒壊している状況を目の当たりにしました。特に、地震の被害の大きかった熊本や大分の状況も気になるところです。視察報告によると、熊本のある幼稚園では、倒壊はしていないものの天井が落下し、ほとんどの什器や機器備品が倒れて損壊し、保育も全く再開できない状況ではありません。また、園庭に大きな亀裂が走り地盤がずれ、建て直しもままならない園もありました。過日皆様からご協力いただきました義捐金も、全国から集まったものと共に、復興資金として既に届けられたことと改めて感謝申し上げます。一日も早い復興と子どもたちの笑顔が戻ってくるよう祈ります。

さて、例年これからの時期は、研修の季節でもあります。県の教職員研修大会、県教委研修、キリスト教保育研修、保育関連事業者の企画する実践研修、園長研修等々。経験年数や立場に分かれて、それぞれの職員が参加します。

県の幼稚園協会における熊毛地区の研究テーマは、「子どもと共に創り出す環境構成」になりました。教育及び保育は「環境を通して行うもの」として教育保育要領に規定されています。環境を整えること、幼児教育・保育の基本であるわけです。これも園で構成する環境は、多岐にわたります。園舎、保育室、遊具、教具、園庭などの物的環境。子どもたちの探究心や情緒を育てる自然環境。そして、ありのままを受容し、信頼感を育む存在の人的環境。どれも子どもの育ちには大切で欠かさないものです。これらをバランスよく意図的に構成し、子どもたちが主体的に関わることが出来るよう創意工夫することが保育者の役割です。新制度二年目を迎え、更なる自己啓発や園内研修が求められます。姉妹園と相互に研究保育を実施し、意見交換や提案を重ねて学びを深めて参ります。

海や川、山や野原で走り回り、カニや小魚やカブトムシを追いかける。人生の基礎となるこの時期を、家族や友だちと種子島で過ごす子どもたち...なんて素晴らしい時間を与えられたことか。どうぞ宝物のような瞬間を皆さんで楽しんでください。

いよいよ夏本番。お泊まり保育や夕涼み会が待ち遠しいですね。一つ一つが子どもたちにとって忘れられない素晴らしい思い出となることでしょう。子どもたちのために今できることを、皆さんが共に整えてくださることに心から感謝いたします。

学園長